

8月のベストセラーブック！ ～集計の都合で少し前のランキング～

1 型板ガラスの世界 内海慶一

昭和期に作られた型板ガラスをカタログ風にまとめた本作が2度目のナンバーワン！
これ1冊あれば下町を散歩するのが一気に楽しくなります。

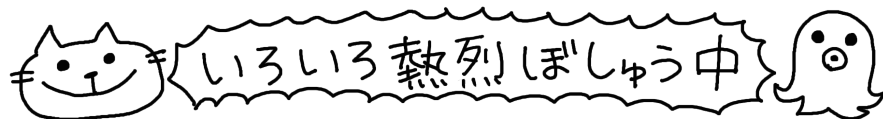
2 大阪の奥深き食文化を巡る旅 玉置標本

4 狸ケーキの図鑑 鈴木二子



3 こんにちは！ さよふしぎたんていしゃです！ ADAMay publishing

5 泊島トラベラーズガイドブック 津城野葉太



★シカク月報の配布協力募集！

シカク月報を配ってくれるお店やスペースを募集しています。
お礼としてチラシやショップカードを送っていただければ、シカクの店頭や通販で配布いたします。

現在の協力店舗さま 模索舎(東京)／BiblioMania(名古屋)／本屋B&B(東京)／ブックギャラリーボボタム(東京)／FOLK old bookstore(大阪)／古本屋貳拾dB(広島)／花森書林(神戸)／タコシェ(東京)／なんば紅鶴(大阪)／シネ・ヌーヴォ(大阪)／雑貨屋ミケちゃん(大阪)／ホホホ座(京都)／ロフトプラスワンウェスト(大阪)／オソプランコ(大阪)／solaris(大阪)／誠光社(京都)／恵文社(京都)／(本)ぼんぼんぼん(大阪)／トランスポップギャラリー(京都)／マールカ古書店(京都)／OF(岡山)／ON READING(名古屋)／古本屋YOMS(香川)／古本ながいひる(岡山)／エフロノット(大阪)／opal times(大阪)／ンケリコ(大阪)／SPBS本店(東京)／1003(神戸)／TOKYO PIXEL(東京)／喫茶ペーパームーン(静岡)／旧グッゲンハイム邸(神戸)／フレイムハウス(大阪)／ブックバーひつじが(福岡)／君の好きな花(福岡)／スペースばせか(京都)／ベアトラップギャラリー(大阪)／宇野港編集室(岡山)／マニアパレル(オンラインストア)／カフェ横読舎(北海道)

★おたより募集！

シカク月報やシカクのお店・イベントの感想などをメールやDMで送っていただけると励みになります。

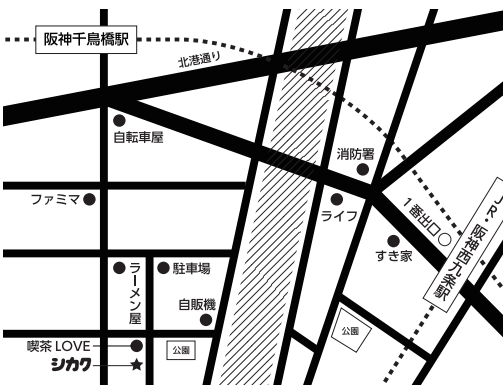
★ZINE・同人誌の委託 募集！

シカクではZINE・同人誌のお取り扱いをいつでも募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

シカク

大阪市此花区梅香 1-6-13
平日 14時～20時
土日祝 13時～19時
火水定休日

リニューアルしました！



シカク月報 2025/ 10 ▶ 11 ¥00

リトルプレスと雑貨とギャラリーのお店・シカクが贈るゆかいなペーパー

＼嘘のような低価格／



10/4 sat ▶ 10/19 sun

inシカク

展示

松村大輔『まちの文字図鑑』新装版記念 大阪手書き文字精察展

町にあふれる素敵な文字を集めて研究する松村大輔さんによる「大阪の手書き文字」の展示。フォントにはない味わいを楽しめます。10月4日は在廊&トークイベントあり！（詳細は中ページで）

10/4 sat

inシカク

イベント

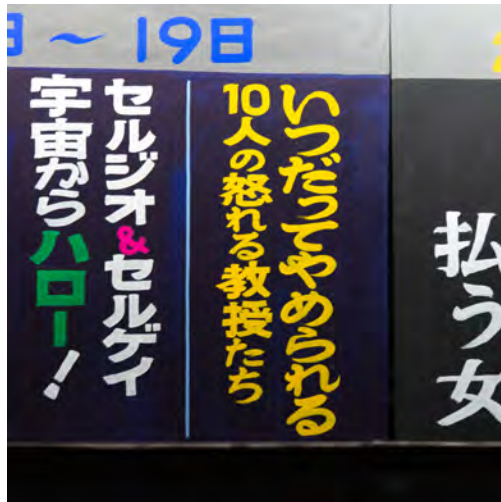
松村大輔 大阪手書き文字精察展 トークイベント

大阪の手書き文字をみんなで見よう

とき | 18:45受付/19:00スタート お代 | 1300円

ゲスト | 松村大輔

逢根あまみ（昭和・平成ラブホ探訪家）
 おだ犬（おもしろクリエイター）
 けんちゃん（電気風呂・ゲタバキ団地愛好家）
 高水湧基/UC（給水塔・都市鑑賞者）



多彩なゲストたちが出会った大阪の手書き文字を眺めて楽しむスライドトーク。ハッシュタグ「#おおさか手書き文字」で、X・instagramでも写真を募集しています！

10/4 sat ▶ 10/19 sun

inシカク

フェア

10/18 sat ▶ 10/19 sun

出店

松村大輔 大阪手書き文字精察展 同時開催
ブックフェア 大福と関西

松村大輔『まちの文字図鑑』の版元である大福書林が、関西にゆかりのある著者や内容の本をセレクトしてご紹介。イラストレーター・ニシワキタダシさんの新刊『つかいにくい図案帖』パネル展示も！



10/25 sat ▶ 11/9 sun

inシカク

展示

のい(noigashira)関西初個展 **犬たちの詩展 in大阪**

犬と過ごす日々で生まれた気持ちを絵と言葉で綴った『犬たちの詩』シリーズの関西初個展。限定特典つきの単行本も販売予定です！

臨時休業のお知らせ

10/18 sat

出店のため店舗はお休みします！



各イベントの
 詳細はwebで！



母は軟弱な男が嫌いだった。

それは創作物の世界でも例外ではなく、特にドラえもんにおける「のび太」には強い嫌悪感を示していた。のび太がドラえもんに助けを求める姿をテレビアニメで見たなら「こいつは軟弱者だ。チャンネルを変えろ」と話した。そんなこともあって、いつしか我が家ではドラえもんのアニメや漫画を見ることがはばかられ、ドラえもんが大好きである私としては非常に困惑した。それ以降、ドラえもんの漫画が読みたくなった時は、家から離れた地元の図書館まで歩いていき、館内でドラえもんの漫画を楽しむと、そのまま何食わぬ顔で家に帰る生活を繰り返していた。（もちろん隠れてドラえもんを読んでいることは母には内緒にしていた。）

その後、私は大人になってから虚偽エッセイ（経験していないことを経験したように書く嘘のエッセイ）を書くようになるのだが、空想・妄想が入り乱れた作風は間違いなくあの頃に図書館で読んだドラえもんの影響を強く受けている。もし、あの世に好きな本を持って行けるのなら私は真っ先にドラえもんを選びたい。私の棺桶の中に、てんとう虫コミックのドラえもん45巻。棺桶にまだスペースがあれば、大長編ドラえもんも入れてほしい。

本多 司 東京生まれ。平凡な日常を過ごしていたが、2013年から突如として嘘のエッセイを書き始める。2023年、虚偽エッセイ集『ふわふわのにぎり拳』を自主制作。2024年には虚偽エッセイ集『ふわふわの狼煙』を発表。

店主のひとりごと

〓〓たけしげのみやき〓〓

以前このコラムで「植物をうまく育てられない」という話を書いた。ところがその後自分の中で確変が起こり、一番の趣味と言ってもいいほど植物沼にハマった。今ではシカクにも自宅にも植木鉢が多数並んでいる。

沼にハマった大きな要因は、自分の好みのタイプの植物を見つけたことだ。どんな趣味でも言えることだが、「これ好き」と思えるものをひとつ見つけたが最後、深掘りしているうちにその周囲も気になってきて、そちらを掘ってみるとさらにまたその周囲が……と際限なく広がりがついたら沼から抜け出せなくなっていた。

そうして植木鉢に囲まれて暮らすようになったが、植物ごとに快適な環境はそれぞれ異なるため、みんなが調子を崩していないか毎日様子を窺いあれこれと世話をしている。以前は植物を育てている人は丁寧な暮らしを楽しんでいるのだと思っていたが、実際にハマってみると主人の顔を伺う下僕に近い。……とthreadsに投稿したら数人から賛同の声が上がったので、下僕化しているのは私だけではないらしい。でも楽しいんだよね。植物がお好きな方、ご来店の際は下僕トークしましょう。

シカク出版だより

シカク代表による妙に濃いめの運営振り返り記

シカクはこうしてこうなった
5巻(最終巻) 9/14発売！

※シカクと一部書店で販売



モラハラ初代店長からの解放、そして新たな苦悩の始まり。数々のつまづきを繰り返し、たけしげはこれまで蓋をしてきた自身の心の暗部に向き合う決意をする……。書店「シカク」と人をめぐる妙に濃いめのヒューマンドラマ、これにて完結！